

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和元年度

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	1 健康を育むまちづくり
施策関係課	(保健部)保健総務課・管理課・疾病対策課・地域保健センター・生活衛生課・衛生検査課・国民健康保険課 ・高齢者保険事業室・看護専門学校

●施策の基本方針(目標)

市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(令和2年度)	現状値	38.4(平成27年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	44.3	46.9	46.7	45.7	
	名称	川口市市民の65歳健康寿命(男性)		単位	年	指標の種別
指標②	目標値	17.30(令和2年度)	現状値	16.23(平成25年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	16.51(平成27年度)	16.65(平成28年度)	16.83(平成29年度)	16.90(平成30年度)	
	名称	川口市市民の65歳健康寿命(女性)		単位	年	指標の種別
指標③	目標値	20.00(令和2年度)	現状値	19.29(平成25年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	19.58(平成27年度)	19.75(平成28年度)	19.85(平成29年度)	20.00(平成30年度)	
	名称			単位		指標の種別
指標④	目標値	現状値		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称			単位		指標の種別
指標⑤	目標値	現状値		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称			単位		指標の種別

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額
事業額	事業費	4,258,066	5,080,543	4,606,212	5,017,441	5,438,795
	概算人件費	862,476	942,942	1,044,301	1,041,852	1,001,957
	総事業費	5,120,542	6,023,485	5,650,513	6,059,293	6,440,752

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 53	単位施策② 51	単位施策③ 51	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
B				51.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和元年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 保健・予防活動の推進									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度の総評価	令和2年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(予算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11100101	保健所準備事業 (平成29年度をもって完了)	保健部 管理課	116,697	922,445	—	—	—	—	—
			164,000	280,800	—	—	—		
11100111	衛生関連免許事業	保健部 管理課	—	—	23	1	58	49	現状維持 で実施
			—	—	3,950	3,950	3,950		
11100121	感染症予防対策事業	保健部 疾病対策課	—	—	17,658	14,201	12,768	54	現状維持 で実施
			—	—	23,700	23,700	23,700		
11100134	不妊治療支援事業	保健部 地域保健センター	—	—	148,908	152,676	160,120	58	現状維持 で実施
			—	—	11,850	11,850	11,850		
11100202	健康推進事業	保健部 保健総務課	2,221	770	7,498	5,748	2,563	48	現状維持 で実施
			328	312	9,480	316	316		
11100301	健康フェスティバル事業	保健部 保健総務課	2,472	2,361	2,731	2,165	2,935	54	現状維持 で実施
			5,330	5,070	5,135	5,135	5,135		
11100401	食生活改善推進事業	保健部 保健総務課	1,450	1,229	1,249	1,032	1,370	55	現状維持 で実施
			5,658	4,914	4,977	4,977	4,977		
11100501	その他保健衛生総務費	保健部 保健総務課	1,667	1,677	1,440	40,991	1,595	50	現状維持 で実施
			2,706	2,730	1,975	1,975	1,975		
11100601	じん肺健康診断費 補助事業	保健部 保健総務課	2,558	2,500	2,385	2,253	2,500	50	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11100801	予防接種事業	保健部 地域保健センター	1,517,208	1,532,966	1,576,983	1,594,903	1,872,435	56	拡充して 実施
			8,200	7,800	15,800	15,800	15,800		
11100811	専門職員等研修費	保健部 管理課	—	—	2,477	2,224	3,330	52	現状維持 で実施
			—	—	2,370	2,370	2,370		
11100821	肝炎治療費助成事業	保健部 疾病対策課	—	—	112	164	214	48	現状維持 で実施
			—	—	7,900	7,900	7,900		
11100901	母子健康手帳交付・ 妊婦健康診査等事業	保健部 地域保健センター	469,021	453,971	462,580	453,416	481,273	58	現状維持 で実施
			7,380	7,020	7,110	7,110	7,110		
11101001	乳幼児健康診査・ 健康相談事業	保健部 地域保健センター	100,479	97,909	96,075	90,862	108,911	56	現状維持 で実施
			106,600	101,400	102,700	102,700	102,700		
11101201	がん検診事業	保健部 地域保健センター	548,855	514,441	689,979	724,852	810,014	56	現状維持 で実施
			31,160	29,640	30,020	30,020	30,020		
11101301	健康診査事業	保健部 地域保健センター	81,017	73,176	90,508	77,178	90,960	56	現状維持 で実施
			10,660	10,140	10,270	10,270	10,270		
11101401	成人健康づくり事業	保健部 地域保健センター	2,401	1,716	1,866	2,017	2,493	54	現状維持 で実施
			50,840	48,360	48,980	48,980	48,980		
11101501	精神保健福祉支援事業	保健部 疾病対策課	1,240	953	4,464	21,272	26,439	54	現状維持 で実施
			36,900	35,100	63,200	71,100	79,000		
11101601	歯の健康フェスティバル 事業	保健部 地域保健センター	1,460	1,471	1,477	1,374	1,492	56	効率化して 実施
			2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11101701	食品衛生事業	保健部 生活衛生課	—	—	4,360	4,096	5,251	54	現状維持 で実施
			—	—	98,750	94,800	102,700		
11101801	食肉衛生検査事業	保健部 生活衛生課	—	—	11,750	14,733	16,994	53	現状維持 で実施
			—	—	47,400	55,300	47,400		
11102001	衛生検査事業	保健部 衛生検査課	—	—	67,162	62,267	75,859	52	拡充して 実施
			—	—	71,100	71,100	71,100		

単位施策名		② 医療体制の充実							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11200011	医療施設指導等事業	保健部 管理課	—	—	8,628	1,866	1,885	56	現状維持 で実施
			—	—	15,800	15,800	15,800		
11200101	小児夜間等救急診療 事業	保健部 保健総務課	83,103	83,154	83,609	190,507	162,896	52	拡充して 実施
			5,740	5,460	7,110	9,480	9,480		
11200201	在宅当番医制事業	保健部 保健総務課	22,929	22,929	23,219	25,040	23,338	50	現状維持 で実施
			1,476	1,404	1,422	1,422	1,422		
11200301	在宅歯科診療事業	保健部 保健総務課	10,929	10,784	11,001	11,942	11,131	40	現状維持 で実施
			1,476	1,404	1,422	1,422	1,422		
11200401	病院群輪番制運営事業	保健部 保健総務課	31,044	31,044	31,116	31,400	31,045	50	現状維持 で実施
			2,870	2,730	2,765	2,765	2,765		
11200501	外国人未払医療費対策 事業	保健部 保健総務課	1,270	—	1,085	70	80	52	現状維持 で実施
			410	—	395	395	395		
11200601	献血推進事業	保健部 管理課	2,462	2,242	2,436	2,271	3,118	48	現状維持 で実施
			820	780	790	790	790		
11200701	骨髄移植ドナー支援 事業	保健部 保健総務課	560	420	140	1,120	840	48	現状維持 で実施
			738	702	316	316	316		
11200801	医師会補助事業	保健部 保健総務課	2,547	2,547	2,547	2,547	2,547	50	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11200901	公的医療機関運営費 補助事業	保健部 保健総務課	124,508	124,508	132,217	133,639	133,871	50	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11201001	済生会川口看護専門 学校補助事業	保健部 保健総務課	4,270	4,270	4,270	4,270	4,270	50	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11201101	済生会川口総合病院新館 建設等整備費助成事業	保健部 保健総務課	9,897	9,741	9,797	9,359	10,424	50	現状維持 で実施
			492	468	395	395	395		
11201151	公的医療機関高額医療 機器整備費補助事業	保健部 保健総務課	—	88,000	—	150,000	—	50	休止
			—	0	—	395	—		
11201161	医療安全相談事業	保健部 管理課	—	—	0	25	50	44	現状維持 で実施
			—	—	2,370	2,370	2,370		
11201171	薬事関連施設指導等 事業	保健部 管理課	—	—	50	83	108	56	現状維持 で実施
			—	—	15,800	15,800	15,800		
11201181	難病支援事業	保健部 疾病対策課	—	—	8,054	9,248	11,813	60	現状維持 で実施
			—	—	47,400	47,400	47,400		
11201201	奨学金貸付事業	保健部 看護専門学校	22,350	20,310	19,260	21,870	23,760	58	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11201301	第1看護学科運営費	保健部 看護専門学校	18,699	18,968	19,251	18,518	23,413	58	効率化して 実施
			82,000	85,800	94,800	86,900	94,800		
11201401	第2看護学科運営費	保健部 看護専門学校	11,350	11,252	6,705	2,347	—	40	廃止
			65,600	62,400	55,300	55,300	—		

単位施策名 ③ 医療保険制度の充実									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11300101	被保険者証発送事務費	保健部	54,910	53,129	52,186	51,142	57,210	54	拡充して 実施
		国民健康保険課	69,700	67,080	67,940	67,940	67,940		
11300201	国保給付事務費	保健部	7,996	14,909	75,600	73,773	80,539	50	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11300301	レセプト点検事業費 (平成30年度から国保給付事務費に統合)	保健部	4,637	6,069	—	—	—	—	—
		国民健康保険課	2,460	2,340	—	—	—		
11300401	共同電算処理事業費 (平成30年度から国保給付事務費に統合)	保健部	64,303	60,233	—	—	—	—	—
		国民健康保険課	8,200	7,800	—	—	—		
11300501	賦課事務経費	保健部	76,759	95,305	95,591	94,175	111,844	54	現状維持 で実施
		国民健康保険課	85,198	81,042	82,081	82,081	82,081		
11300601	相談員事業費 (平成30年度から収納率向上特別対策 事業費に統合)	保健部	42,067	22,940	—	—	—	—	—
		国民健康保険課	20,910	9,750	—	—	—		
11300701	国民健康保険運営 協議会経費	保健部	495	466	470	475	823	56	現状維持 で実施
		国民健康保険課	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11300801	保健衛生普及事業	保健部	18,506	20,526	20,650	20,461	20,685	50	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11300901	後発医薬品利用促進 事業	保健部	409	668	409	337	695	52	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11301001	疾病予防事業	保健部	244,840	238,438	214,347	210,074	240,885	46	効率化して 実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11301101	特定健康診査事業費	保健部	278,678	260,294	283,369	356,974	322,369	54	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,364	7,956	8,058	8,058	8,058		
11301201	特定保健指導事業費	保健部	33,041	14,497	17,847	18,754	28,464	52	現状維持 で実施
		国民健康保険課	7,380	7,020	7,110	7,110	7,110		
11301301	健康診査事業	保健部	108,109	111,963	137,088	149,148	168,290	52	現状維持 で実施
		高齢者保険事業室	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11301401	人間ドック検診料 助成事業	保健部	99,298	113,821	115,419	125,895	140,531	48	現状維持 で実施
		高齢者保険事業室	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11301501	後期高齢者医療保険料 徴収関係経費	保健部	29,354	29,531	38,166	31,686	142,297	48	効率化して 実施
		高齢者保険事業室	16,400	15,600	15,800	15,800	15,800		

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100111	事業名称	衛生関連免許事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法、栄養士法、調理師法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	衛生免許申請者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	衛生免許事業の適正な運営を図る。	1 厚生労働大臣免許に関する事務 申請書の受付、免許証の交付 2 知事免許に関する事務 申請書の受付、手数料の徴収、免許証の作成、免許証の交付	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	(令和2年3月末現在実績) ・厚生労働大臣免許(新規492件、書換等304件) ・知事免許(新規204件、書換等81件)	項目	実績 単位
		看護師免許新規申請	209 件
		調理師免許新規申請	101 件
事業の成果 【定性的評価】	衛生免許制度の効率的な運営に資することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	厚生労働大臣免許申請処理件数			指標・目標値の 説明(算定式)	申請に応じて処理する事務であるため、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		727	—	796	—				
指標②	名称	知事免許申請処理件数			指標・目標値の 説明(算定式)	申請に応じて処理する事務であるため、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		371	—	285	—				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	04細々目	衛生関連免許事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	—	58		58		58	58			
決算額(B)=(C)+(D)	—	23		1						
財源※	特定財源(C)	23		1		58				
	一般財源(D)	0		0		0				
概算人件費(E)	—		3,950		3,950		3,950	3,950		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		3,973		3,951		4,008	4,008		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
49 /60	事務手順を免許権者である国や県が厳密に規定していることから、本市独自の改善策の採用は困難である。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100121	事業名称	感染症予防対策事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先	423-6726	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” — 1 健康を育むまちづくり — ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定されている一類から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の患者又は感染が疑われる患者及び医療機関	同左及びその他市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症の発生状況を把握し、まん延及び拡大防止を図り、市民の健康を守る。	<ul style="list-style-type: none"> 公費負担医療費の給付 感染症患者調査、訪問、相談 感染症患者の移送 感染症発生動向調査事業 感染症予防普及啓発事業 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 感染症患者発生時に調査、訪問、相談・年間を通して感染症発生動向調査を実施・毎月第2木曜日に川口市保健所で性感染症通常検査を実施・年に2回、フレンドピアでHIV、梅毒即日検査を実施・各種予防週間に合わせた感染予防の普及啓発 	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	感染症の発生状況の把握し、市民への注意喚起を行うことにより、まん延及び拡大の防止に貢献した。また、性感染症検査を実施することにより、早期発見、早期治療に繋げるとともに、普及啓発活動により、市民の意識向上に努めた。	HIV、梅毒即日検査受検者数	130 人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	HIV、梅毒即日検査受検率			指標・目標値の説明(算定式)	受検者数÷受付可能人数×100(%)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		51.50 未達成	65 未達成						
指標②	名称	性感染症通常検査予約数			指標・目標値の説明(算定式)	予約数÷予約枠数×100(%)				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		89.80 達成	74.30 未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	003細目	02細々目	感染症予防対策事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	—	21,576		17,269	12,768	221,238				
決算額(B)=(C)+(D)	—	17,658		14,201						
財源※	特定財源(C)	5,689		3,958	3,526					
	一般財源(D)	11,969		10,243	9,242					
概算人件費(E)	23,700		23,700	23,700	23,700					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	41,358		37,901	36,468	244,938					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	HIV、梅毒即日検査受検率が目標に達しなかった原因として、6月実施分の受検者数が少なかったことが挙げられるため、周知方法等を見直し、改善する必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100134	事業名称	不妊治療支援事業			事業区分	主要な事業 政策宣言18・その他
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	048-256-2022	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	少子化社会対策基本法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	不妊症及び不妊症の疑いがあるか、または診断された夫婦。	左記に加え、検査及び治療の開始日に妻の年齢が43歳未満の法律上の婚姻をしている夫婦であり、治療の助成にあたっては夫婦合算の所得が730万円未満の夫婦。		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	・不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる、配偶者間の不妊治療に要する費用の一部助成を行う。・生殖医療専門医による相談事業(埼玉医科大学総合医療センター委託)を行うことにより、不妊症や不妊症に悩む夫婦の不安や悩みを軽減する。	・早期不妊検査費・不妊症検査費助成事業・・・指定医療機関等で受けた検査にかかる費用に対し、夫婦1組につき各1回のみ2万円の上限助成。・特定不妊治療費助成事業・・・指定医療機関で受けた特定不妊治療にかかる費用に対し、年齢や治療内容に応じ、費用の一部を助成。・川口市不妊専門相談センターの案内。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・不妊検査費、不妊症検査費助成事業及び特定不妊治療費助成事業の申請受付により、助成金の交付を実施。・ホームページやパンフレットなどで不妊症及び不妊症について周知し、併せて不妊専門相談センターを案内。・指定医療機関審査会に年2回出席。	項目	実績	単位
		特定不妊治療費助成件数	625	件
事業の成果 【定性的評価】	助成金の交付により、特定不妊治療等にかかる高額な医療費の負担軽減が図れた。また不妊専門相談センターについては、不妊症や不妊症に悩む夫婦に対し、生殖医療専門医による情報提供及び相談指導を提供することができた。	早期不妊検査費・不妊症検査費助成件数	292	件
		不妊専門相談センター相談件数	1	件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	003細目	07細々目	不妊治療支援事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	—	196,760	171,522	160,120	160,120			
決算額(B)=(C)+(D)	—	148,908	152,676					
財源※	特定財源(C)	—	76,770	76,627	73,363			
	一般財源(D)	—	72,138	76,049	86,757			
概算人件費(E)	—	11,850	11,850	11,850	11,850		11,850	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	160,758	164,526	171,970	171,970			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	助成申請に対して、速やかに交付決定手続きが行えるよう、人員の確保維持。申請要件や助成金の拡充の要望に対し、国や他の自治体の動向を注視していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100202	事業名称	健康推進事業	事業区分	主要な事業 政策宣言7
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5417)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食育基本法、自殺対策基本法、川口市地域保健審議会条例、川口市補助金等交付規則、健康管理士一般指導員資格取得者補助金交付要綱他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	健康で活気に満ちた街づくりを推進するため、市民の心身の健康・生きがいづくりを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健審議会の開催 ・健康・生きがいづくり通信の発行 ・受動喫煙防止啓発チラシ配布 ・健康応援アプリ「Sun-歩」開発 ・地域健康指導者資格取得者への補助 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・地域保健審議会開催(7月・2月)・健康・生きがいづくり通信発行(3月)・健康フェスティバル等各事業にて受動喫煙防止啓発チラシ配布・地域健康指導者資格取得者へ補助金交付	項目	実績 単位
		地域保健審議会	2 回
		健康・生きがいづくり通信	12,000 部
事業の成果【定性的評価】	地域の健康・生きがいづくりに関する諸施策を総合的に推進できた		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域健康指導者資格の取得者			指標・目標値の説明(算定式)	健康管理士一般指導員と健康・生きがいづくりアドバイザー資格取得者の計				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	4	未達成	4	未達成	4	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	01細々目	健康推進事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	1,269	8,274	6,470	2,563	2,563					
決算額(B)=(C)+(D)	770	7,498	5,748							
財源※	特定財源(C)	0	4,325	222	222					
	一般財源(D)	770	3,173	5,526	2,341					
概算人件費(E)	312	9,480	316	316	316					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.04	0.00	1.20	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,082	16,978	6,064	2,879	2,879					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	地域健康指導者の資格取得については、健康に関するボランティア活動の増加につなげる目的であるので、単純な資格取得補助にならないようにしていく必要がある。また、市民ニーズを把握し、結果により事業の縮小・拡大を検討していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100301	事業名称	健康フェスティバル事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5417)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口健康フェスティバル実行委員会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民 川口健康フェスティバル実行委員会	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、市民主役の健康づくりの実現につなげる。	・川口健康フェスティバルの開催		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・令和元年9月29日(日)に川口総合文化センターリリアで開催・健康体験コーナー:三師会による各種健康相談、骨密度測定、血管年齢測定、糖尿病簡易検査等・運動体験コーナー:ウォーキング、イスYOGA等・保健・医療に係る功労表彰等各種表彰、健康講演	項目	実績	単位
		川口健康フェスティバル実行委員会	2	回
事業の成果 【定性的評価】	チラン10,400枚、ポスター2,400枚、各種広報誌、新聞社、通信社、放送局、国際興業等あらゆる媒体を利用した周知により事業への参加に繋がり、市民の健康・生きがいづくりに関しての意識と関心を高めることができた。			
	川口健康フェスティバル	1	回	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康体験コーナー来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年の体験コーナー来場者の平均値					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	実績値・達成状況	851	832	723	630						
	実績値・達成状況	801	未達成	506	未達成	584	未達成				
指標②	名称	健康に係る講演会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の講演会来場者数の平均値					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	実績値・達成状況	450	527	476	379						
	実績値・達成状況	512	達成	374	未達成	253	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	02細々目	健康フェスティバル事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	2,930	3,141	3,050	2,935	2,935					
決算額(B)=(C)+(D)	2,361	2,731	2,165							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	2,361	2,731	2,165	2,935					
概算人件費(E)	5,070	5,135	5,135	5,135	5,135					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,431	7,866	7,300	8,070	8,070					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	市民の主体的な健康づくりに対する意識の啓発という意義から、健康に無関心な働く世代の参加を増加させることが課題である。来場者数が年々減少傾向にあることや、業務の効率化を図るため、事業内容を委託するなど大幅な事業の見直しが必要である。	2年度 現状維持で実施 3年度 効率化して実施 4年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100401	事業名称	食生活改善推進事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199(#33-5412)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市食生活改善推進員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	食育等に関する様々なボランティア活動を行っている川口市食生活改善推進員に研修等を行い、地域の食生活の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進員リーダー研修 食生活改善推進員養成講座 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	8月を除く毎月第2水曜日に、生涯学習プラザにおいて、地域保健センター栄養士を講師として調理実習等を行う「リーダー研修」を実施。また、8月第2水曜日には、より詳しい食の知識を学ぶため夏期学習会を実施。10～12月には会員養成講座を開催。	項目	実績
		食生活改善推進員リーダー研修	10 回
		夏期学習会	1 回
事業の成果【定性的評価】	各研修等によって、会員の質を向上させることができた。また、当協議会は、市内の様々な講習会(食育教室等)への協力や、各種料理教室開催等のボランティア活動を実施しており、市民の食生活の改善に貢献することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	食生活改善推進員養成講座参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受講者数を基に算定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	19 未達成		17 未達成		22 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	03細々目	食生活改善推進事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,374	1,370		1,370		1,370		1,370		
決算額(B)=(C)+(D)	1,229	1,249		1,032						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,229		1,249		1,032		1,370		
概算人件費(E)	4,914		4,977		4,977		4,977		4,977	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,143		6,226		6,009		6,347		6,347	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
55 /60	会員の高齢化が進んでいることから、今後の活動を行っていくうえで、いかに新規会員を増やしていくかが課題である。また、養成講座の参加者が目標を下回っていることから、周知方法等の検討が必要である。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100501	事業名称	その他保健衛生総務費	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199(#33-5412)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口歯科医師会補助金交付要綱、川口薬剤師会補助金交付要綱、川口食品衛生協会補助金交付要綱 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・一般社団法人川口歯科医師会 ・一般社団法人川口薬剤師会 ・川口助産師会 ・埼玉県柔道整復師会川口支部 ・川口食品衛生協会	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	・各保健衛生関係団体に補助することにより、市民の健康増進及び公衆衛生の向上を図る。	各団体の活動を支援するため、補助金を交付する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・救急歯科診療、歯科健康診断 ・研修会、講習会 ・細菌検査・食品の自主検査の励行、巡回指導 ・街頭キャンペーン、パンフレット等の作成 などの活動に補助金を交付した。	項目	実績	単位
		川口歯科医師会補助金	725	千円
		川口薬剤師会補助金	170	千円
川口食品衛生協会補助金		340	千円	
事業の成果 【定性的評価】	・歯科診療や歯科健康診断などにより、市民の歯科口腔衛生の向上が図られた。 ・講習会の開催、食品の自主検査の励行、巡回指導などにより、食中毒等の事故を未然に防止した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	04細々目	その他保健衛生総務費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,752	1,638		41,249		1,595		1,595		
決算額(B)=(C)+(D)	1,677	1,440		40,991						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,677		1,440		40,991		1,595		
概算人件費(E)	2,730		1,975		1,975		1,975		1,975	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,407		3,415		42,966		3,570		3,570	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	市民の健康増進、公衆衛生の向上のため必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100601	事業名称	じん肺健康診断費補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199(#33-5412)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” — 1 健康を育むまちづくり — ① 保健・予防活動の推進				
根拠法令等	じん肺法、川口市補助金等交付規則、じん肺健康診断費補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口鋳物工業協同組合 ・川口機械工業協同組合	・川口鋳物工業協同組合員 ・川口機械工業協同組合員	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	じん肺法に基づくじん肺健康診断の受診促進を講じ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援する。	川口鋳物工業協同組合及び川口機械工業協同組合が行っている、じん肺健康診断におけるレントゲン検査・肺機能検査等及び研修会・研究会等に係る経費を対象とし補助金を交付する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口鋳物工業協同組合が実施したじん肺健康診断に対し、補助金を交付した。	項目	実績
		じん肺健康診断費補助金	2,253 千円
事業の成果 【定性的評価】	じん肺健康診断の充実が図られ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	レントゲン受診者数			指標・目標値の説明(算定式)	じん肺健康診断におけるレントゲン受診者数(人) 目標設定がなじまない事業のため実績値のみとする				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	598	—	547	—	532	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	02細々目	じん肺健康診断費補助事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500					
決算額(B)=(C)+(D)	2,500	2,385	2,253							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	2,500	2,385	2,253	2,500					
概算人件費(E)	390	395	395	395	395					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,890	2,780	2,648	2,895	2,895					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	粉じん作業従事者の健康のために欠かせない補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100801	事業名称	予防接種事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	予防接種法、特定感染症検査等事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	予防接種法に基づく定期予防接種対象の市民 任意予防接種費用助成及び風しん抗体検査を希望する市民	左記のうち、定期予防接種を受けた者及び任意予防接種費用助成又は風しん抗体検査を受けた者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症に感染するおそれのある者に対し、感染症の発病予防、症状の軽減、蔓延防止を目的に実施する。	川口市医師会等と委託契約し、同会会員の市内医療機関等で定期予防接種を個別接種として実施する。 また、費用助成制度のある任意予防接種及び風しん抗体検査についても、委託医療機関において実施する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・予防接種法に基づく定期予防接種の実施(ヒブ感染症、小児の肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻疹、風疹、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ)・任意予防接種費用助成(おたふく・風しん)、風しん抗体検査	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	予防接種を実施することにより、感染症に罹患したものの重症化及び感染症の蔓延を防止することができた。 また、風しん抗体検査を行うことにより、先天性風しん症候群の予防につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	BCG予防接種の接種率			指標・目標値の 説明(算定式)	定期予防接種対象者数を接種者数で除した数値				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	100		100		100		100		100
	実績値・達成状況	98.60	未達成	98.02	未達成	99.10	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	002細目	01細々目	予防接種事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,581,717	1,598,933		1,703,656		1,872,435		1,872,435		
決算額(B)=(C)+(D)	1,532,966	1,576,983		1,594,903						
財源※	特定財源(C)	4,056	9,555		29,452		63,528			
	一般財源(D)	1,528,910	1,567,428		1,565,451		1,808,907			
概算人件費(E)	7,800	15,800		15,800		15,800		23,700		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	3.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,540,766		1,592,783		1,610,703		1,888,235		1,896,135	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	予防接種法の改正により、年々定期接種の種類が増加しており、対象者数及び委託医療機関数も多く、事務作業量が膨大であることから、臨時補助員等の継続的な確保と正職員の増員が不可欠である。令和2年度は、事務負担軽減のため、臨時補助員を減員し、その経費をあてて予防接種等の封入封緘業務を委託する。	2年度	拡充して実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100811	事業名称	専門職員等研修費	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5713)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	保健所運営に関する法令その他通知等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	保健所内の専門職職員	市民 公衆衛生上の危機に直面する国内の住人	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公衆衛生上の危機に対する予防及び拡大の防止のために、専門職職員の知識及び技術の向上を図ることで、市民又は公衆衛生上の危機に直面した国内の住人の衛生を維持又は向上させる。	公衆衛生に関する専門的な研修に参加する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	日本公衆衛生学会、レジオネラ対策講習会、アルコール依存症研修、エイズ対策専門研修、ひきこもりの精神保健相談・支援の実践研修、食品衛生監視指導研修、建築物環境衛生管理技術者講習会、日本臨床微生物学会、公衆衛生看護研修等。	項目	実績
		日本公衆衛生学会	3 日
		アルコール依存症研修	4 日
		公衆衛生看護研修	5 日
事業の成果 【定性的評価】	各分野において必要とされる知識及び技術の取得により、各事象における個別対応力が向上し、衛生の維持又は向上に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	001細目	02細々目	専門職員等研修費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	—	3,861	2,862	3,330	3,330			
決算額(B)=(C)+(D)	—	2,477	2,224					
財源※	特定財源(C)	—	2,477	2,224	3,330			
	一般財源(D)	—	0	0	0			
概算人件費(E)	—	2,370	2,370	2,370	2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	4,847	4,594	5,700	5,700			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	公衆衛生については、新たな感染症等、多種多様な事例や研究が逐次行われており、最新の情報や技術の取得には研修が必要となる。研修参加にあたっては、業務の効率及び参加機会の公平性も考慮しなければならないため、必要な研修の判断を行った上で参加することとする。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100821	事業名称	肝炎治療費助成事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先	423-6726	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、肝炎対策基本法

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	B型及びC型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法(インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療)を受ける予定又は治療を受けている又は治療後経過観察中の者又は無症状保有者で経過観察が必要な者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	肝炎・肝がん・重度肝硬変患者の早期かつ適切な医療を促進することで、肝がんの罹患率の減少を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 肝炎治療医療費助成の進達事務 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業申請の進達事務 肝炎重症化予防事業 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 肝炎治療医療費助成申請書類の受理及び県への進達 肝炎検査費用助成申請書類の受理及び県への進達 肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップ 	項目	実績	単位
		フォローアップ数	57	人
		進達件数	549	件
事業の成果 【定性的評価】	肝炎・肝がん・重度肝硬変患者へ各種助成を案内及び肝炎ウイルス検査陽性者へのフォローアップにより、早期かつ適切な医療に繋げることに貢献した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	フォローアップ事業フォロー数			指標・目標値の説明(算定式)	フォロー数÷陽性者数×100(%)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		80 達成	80 達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	003細目	01細々目	肝炎治療費助成事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	—	165		252		214		214		
決算額(B)=(C)+(D)	—	112		164						
財源※	特定財源(C)	112		164		214				
	一般財源(D)	0		0		0				
概算人件費(E)	—		7,900		7,900		7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		8,012		8,064		8,114		8,114	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	フォローアップ対象者からの受診状況等に関する調査票の返信率を上げるための工夫が必要である。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11100901	事業名称	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	9	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” — 1 健康を育むまちづくり — ① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	母子保健法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	母子健康手帳の交付・・・妊娠の届出のあった川口市市民 妊婦健康診査・産後健診・・・川口市の妊婦及び産婦	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	妊娠から出産、育児、予防接種、健康診査などの記録管理や、経済的な理由などで妊娠中及び産後の健康管理を怠ることがないように経済的負担の軽減を図り、母子の健康を守るものである。	・母子健康手帳を交付する。 ・妊婦健康診査及び産後健診助成券を交付し、公費助成を実施する。 ・委託契約外の医療機関で受診した場合、償還払いにて公費助成を実施する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・妊娠届出のあった川口市市民に母子健康手帳を交付した。 ・妊産婦が、妊婦健康診査及び産後健診業務委託医療機関等に助成券を提出することにより、公費助成を実施した。 ・委託契約を実施していない医療機関等で妊婦健康診査・産後健診を受診した場合には、償還払いを実施した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	・申請された書類一式の多くに不備がみられるため、よりわかりやすい申請書類等の見直しを行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成券交付者数			指標・目標値の説明(算定式)	妊娠の届出をした者に対して、母子手帳及び助成券を交付することとなり、目標値を設定することがそぐわない。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	5,685	—	5,531	—	5,379	—	—	—	—
指標②	名称	一人当たりの妊産婦の受診回数			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県母子保健データ(受診した数÷助成券を受け取った妊婦の数)を基に算出(*平成30年度より産後健診を追加)				
	単位	回	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	10.52	未達成	11.25	未達成	11.31	未達成	—	—	—

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	003細目	01細々目	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	482,317	485,159	464,173	481,273	481,273					
決算額(B)=(C)+(D)	453,971	462,580	453,416							
財源※	特定財源(C)	0	9,530	9,957	11,475					
	一般財源(D)	453,971	453,050	443,459	469,798					
概算人件費(E)		7,020	7,110	7,110	7,110	7,110				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	460,991	469,690	460,526	488,383	488,383					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	・より多くの妊婦及び産婦が当制度の利用に結びつくよう、助成券交付時などの案内や周知方法を工夫する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101001	事業名称	乳幼児健康診査・健康相談事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市市民の3か月児から6歳児	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	対象児に対して、健康診査、健康相談を実施する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	3. 4か月児・1歳6か月児健康診査は川口市医師会に委託し、健診を実施した。1歳6か月児歯科健康診査は川口歯科医師会に委託し、歯科健診及びフッ化物塗布を実施した。3歳児健康診査は内科、歯科健診を実施した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	乳幼児の心身の発達等を促すとともに、保護者への相談指導を通して、育児不安等の軽減を図り、適切な対応ができるよう支援することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	3. 4か月児健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	平成30年度埼玉県全市町村の平均受診率より算出(令和元年度埼玉県母子保健より)		
	単位	%	指標の種別	成果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	93.20 未達成	94.60 未達成	92.80 未達成	96.60	96.60	96.60	
指標②	名称	3歳児健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	平成30年度埼玉県全市町村の平均受診率より算出(令和元年度埼玉県母子保健より)		
	単位	%	指標の種別	成果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	86.80 未達成	87.90 未達成	85.20 未達成	94.10	94.10	94.10	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	003細目	02細々目	乳幼児健康診査・健康相談事業	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	104,240	104,387		101,606	108,911	108,911		
決算額(B)=(C)+(D)	97,909	96,075		90,862				
財源※	特定財源(C)	0		0	0	0		
	一般財源(D)	97,909	96,075		90,862	108,911	108,911	
概算人件費(E)	101,400	102,700		102,700	102,700	102,700		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	13.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	199,309	198,775		193,562	211,611	211,611		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	受診率はほぼ横ばいである。受診率の低い外国人に対する周知や健診時の外国語への対応等を強化して引き続き実施する。また、幼稚園・保育園等からの受診勧奨を継続して依頼し、今後も受診率向上を目指す。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101201	事業名称	がん検診事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 胃がん、肺がん、大腸がん 40歳以上の市民 子宮頸がん 20歳以上の市民 乳がん 40歳以上の女性市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) がんは、早期発見・早期治療が有効であるため、各種がん検診を実施し、受診を通しより高い認識・理解を図る。更には市民が自ら生活習慣を見直し、健康の維持・増進及びがんの早期発見・早期治療に努めること。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) がんの早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・肺がん検診(個別検診) ・胃がん検診(レントゲン;集団検診、胃内視鏡;個別検診) ・大腸がん検診(個別検診) ・子宮頸がん検診(個別検診) ・乳がん検診(集団検診・個別検診)	主な実績 項目 実績 単位	
事業の成果 【定性的評価】	がんの早期発見、早期治療、更には受診者本人及び家族、身近な人の健康意識の向上に結びついた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	子宮頸がん検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における、受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	12.50	達成	13.20	達成	13.60	達成			
指標②	名称	乳がん検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における、受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	12.40	達成	12.10	未達成	12.50	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	004細目	01細々目	がん検診事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	569,767	690,213		738,801	810,014	810,014				
決算額(B)=(C)+(D)	514,441	689,979		724,852						
財源※	特定財源(C)	3,434	2,923		3,110	3,684				
	一般財源(D)	511,007	687,056		721,742	806,330				
概算人件費(E)	29,640	30,020		30,020	30,020					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.80	0.00	3.80	0.00	3.80	0.00	3.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	544,081	719,999		754,872	840,034					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
56 /60	令和元年度にWeb予約システムを導入し、今年度はWeb予約枠を拡大した。今後も受診のしやすさと共に、定期検診の重要性について周知していく。	2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	
		4年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101301	事業名称	健康診査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	健康診査:40歳以上、生活保護受給者。肝炎ウイルス検診:20歳以上過去未受診者。訪問歯科健康診査:概ね65歳以上、在宅で寝たきり。成人歯科健康診査・歯科ドック・口腔がん検診:30歳以上。かかりつけ薬局強化事業:40歳以上。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	疾病の予防および早期発見・早期治療を目的としている。	疾病の早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・健康診査 ・肝炎ウイルス検診 ・訪問歯科健康診査 ・成人歯科健康診査・歯科ドック・口腔がん検診 ・かかりつけ薬局強化事業	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	受診を通して、自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、疾病の予防および早期発見・早期治療、健康に対する意識の向上につながった。さらに受診後にも健康相談等、継続したサービスの利用につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	02細々目	健康診査事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	85,741	97,107	87,360	90,960	90,960			
決算額(B)=(C)+(D)	73,176	90,508	77,178					
財源※	特定財源(C)	8,674	13,977	17,274	9,547			
	一般財源(D)	64,502	76,531	59,904	81,413			
概算人件費(E)	10,140	10,270	10,270	10,270	10,270			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.30	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	83,316	100,778	87,448	101,230	101,230			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	生活保護受給者の健康診査については、受診後の健康相談事業を企画していたが、今後は新型コロナウイルス感染症を考慮した上で、関係課と連携し生活習慣病等重症化予防に取り組む。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101401	事業名称	成人健康づくり事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 57 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	健康に関する正しい情報・知識を市民に広くお知らせする。また、健康の保持・増進、疾病の予防等について、市民自らの健康管理意識を向上させる。	健康教育・健康相談・訪問指導・機能訓練事業などを通して、健康の保持増進、疾病予防に関する情報や知識を伝える。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・健康教育 ・健康相談 ・訪問指導 ・失語症者支援事業 等	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市民が自らの健康に関心を持ち、生活習慣を見直すことにより疾病予防・悪化防止・介護予防に役立った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康教育の延べ参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	健康教育の延べ参加者数(人) ※各教室が定員を満たした場合の延べ参加者数(各教室の定員の合計)とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					5,000	5,000	5,000		
	実績値・達成状況	6,198	達成	4,513	未達成	4,764	未達成			
指標②	名称	健康相談の延べ参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	健康相談の延べ参加者数(人) ※各種健康相談の来場予定数の合計とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					1,000	1,000	1,000		
	実績値・達成状況	996	未達成	1,002	達成	917	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	03細々目	成人健康づくり事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	2,356	1,961		2,222		2,493		2,493		
決算額(B)=(C)+(D)	1,716	1,866		2,017						
財源※	特定財源(C)	223		215		381		2,193		
	一般財源(D)	1,493		1,651		1,636		300		
概算人件費(E)	48,360		48,980		48,980		48,980		48,980	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	50,076		50,846		50,997		51,473		51,473	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	健康寿命延伸に向け、幅広い世代を対象にした相談・教育等の事業を実施しているが、今後は新型コロナウイルス感染症予防を考慮し企画していく。また、より地域に密着した事業を展開していくため、関係団体・機関との連携、出前講座等の活用についても、引き続き検討していく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101501	事業名称	精神保健福祉支援事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先 266-5557(#74-5751)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	「精神保健福祉法」、「自殺対策基本法」、「医療観察法」、「アルコール健康障害対策基本法」

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・一般市民 ・地域で生活する精神障害または疑いのある者とその家族 ・精神保健福祉相談支援に携わる職員	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左												
事業の概要	事業の目的(何のために) ・精神障害および疑いのある者が地域で安定した生活を送るため。 ・精神保健福祉に対する正しい理解を広め、誤解や偏見をなくすため。 ・精神保健福祉に関する相談技術の向上をはかり、適切な支援を行うことを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 精神疾患の早期発見・早期治療、こころの健康づくりや精神障害者の社会復帰を促進するため、地域生活の支援・社会復帰相談事業を行う。													
元年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ①相談支援(訪問、面接、精神保健福祉専門相談、アウトリーチ事業等)②健康教育(こころの健康講座、家族教室、ひきこもり家族のつどい等)③社会復帰支援事業(ソーシャルクラブ)④自殺予防対策事業(メンタルヘルスチェック、ゲートキーパー研修等)⑤相談者支援事業(研修、事例検討会等)	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころの健康講座</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ゲートキーパー研修</td> <td>7</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ひきこもり家族のつどい</td> <td>12</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	こころの健康講座	3	回	ゲートキーパー研修	7	回	ひきこもり家族のつどい	12	回
項目	実績	単位													
こころの健康講座	3	回													
ゲートキーパー研修	7	回													
ひきこもり家族のつどい	12	回													
事業の成果【定性的評価】	令和元年から多職種による訪問型支援を行い、医療中断者等への早期介入を図り、安定した地域生活を継続することができた。自殺対策では他業種多機関と連携し、幅広く普及啓発することでこころの健康に関する理解を深めることができた。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	こころの健康講座参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	事業内容を見直し、講座定員数を150人に変更した。(各講座定員数50人)				
	単位	人	指標の種別	結果		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
実績値・達成状況	191	未達成	315	達成	172	未達成				
指標②	名称	相談支援			指標・目標値の説明(算定式)	相談支援件数(延べ件数):訪問、面接、電話、メール、精神保健福祉専門相談での相談				
	単位	件	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
実績値・達成状況			5,193	達成	6,289	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	04細々目	精神保健福祉支援事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	1,007	5,592	26,753	26,439	27,255					
決算額(B)=(C)+(D)	953	4,464	21,272							
財源※	特定財源(C)	357	438	13,677	10,373					
	一般財源(D)	596	4,026	7,595	16,066					
概算人件費(E)	35,100	63,200	71,100	79,000	79,000					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.50	0.00	8.00	0.00	9.00	0.00	10.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	36,053	67,664	92,372	105,439	106,255					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
54 /60	精神疾患だけでなく生活困難、高齢化などの課題が複雑で多様化しているため、適切な支援へとつなげる体制整備や各分野との連携の充実が必要である。そのために、関係機関向け研修や事例検討を実施し、職員のスキルアップに努め人材育成を行う。	<table border="1"> <tr> <td>2年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	2年度	現状維持で実施	3年度	現状維持で実施	4年度	現状維持で実施
2年度	現状維持で実施							
3年度	現状維持で実施							
4年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101601	事業名称	歯の健康フェスティバル事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市歯科口腔保健の推進に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	乳児期・学童期・思春期・成人期・高齢期に至る全ての年齢で、う歯や歯周病の予防、口腔機能の維持を目的とした正しい歯科保健知識の普及啓発を行い、生涯を通じた口腔保健の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の衛生週間に合わせ、市民に対し、歯科保健に関する啓発と口腔ケアの知識に関する体験・指導・相談・周知。 ・実施主体: 市、歯科医師会、教育委員会 ・実施協力: 歯科衛生士会、歯科技工士会 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期・場所: 6月2日(日)総合文化センターリリア ・実施内容: 体験・指導(ブラッシング、フッ化物、歯科ドック、口臭、咬合圧、指型石膏模型)、8020、歯の健康相談、展示、図画ポスター・標語コンクールの展示・表彰、児童・生徒学校保健委員会の発表 	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	さまざまな年代の多くの来場があり、口腔保健の普及啓発ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歯の健康フェスティバル来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来場者数の実績から平均値を算出したもの				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	1,140 未達成		1,175 未達成		1,062 未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	005細目	01細々目	歯の健康フェスティバル事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,491	1,491		1,384		1,492		1,492		
決算額(B)=(C)+(D)	1,471	1,477		1,374						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,471		1,477		1,374		1,492		
概算人件費(E)	2,340		2,370		2,370		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,811		3,847		3,744		3,862		3,862	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	幅広い年代の市民がより多く参加できるよう、民間の活用や既存コーナーの見直し、新コーナー導入などを検討し、内容の充実を図る。	2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施
		4年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101701	事業名称	食品衛生事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	生活衛生課	問い合わせ先	048-423-7889	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食品衛生法、健康増進法、食品表示法、食品衛生法施行条例(県条例)、川口市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準等を定める条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民、食品等事業者 等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 食品の安全性を確保するため、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、市民の健康を守る。また、特定給食施設等給食施設に指導助言を行い、市民の健康増進を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ①法令等に基づく許可及び届出受理②食品衛生監視指導計画の策定③HACCPに沿った衛生管理の推進④食中毒等の相談及び指導並びに予防啓発⑤特定給食施設等給食施設に対する指導助言⑥食品表示(衛生及び保健事項)に係る指導及び啓発⑦食品等事業者に対する研修等の実施⑧リスクコミュニケーションの実施	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ①許可及び届出受理1,093件、②策定及び公表、③支援講習会・相談会1回実施、④リーフレット3種・啓発グッズ3種作成及び川口駅・西川口駅前食中毒防止キャンペーン、④・⑤・⑥相談5,712件、⑦実施回数同右、⑧子ども食堂会議実施	主な実績	
		項目	実績
		リーフレット・啓発グッズ配布数	46,447 枚、個
		講習会等実施回数	114 回
		キャストレーション、電光掲示板、ポスター掲示、FMラジオ放映	8 回
事業の成果 【定性的評価】	通常の相談業務、講習会、啓発物の作成配布および施設監視を通して、飲食に起因する衛生上の危害の発生防止並びに住民の健康増進に努めることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	監視指導			指標・目標値の説明(算定式)	食中毒対策のため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		1,604 達成	1,600件	1,600件	1,600件	1,600件			
指標②	名称	食品検査			指標・目標値の説明(算定式)	市内の食品の安全性を確保するための検査の検体数。				
	単位	検体	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		183 未達成	189	194	195	195			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	09目	003細目	01細々目	食品衛生事業					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	—	5,696	6,165	5,251	5,251							
決算額(B)=(C)+(D)	—	4,360	4,096	—	—							
財源※	特定財源(C)	—	4,360	4,096	5,251							
	一般財源(D)	—	0	0	0							
概算人件費(E)	—	98,750	94,800	102,700	102,700							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	12.50	0.00	12.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	103,110	98,896	107,951	107,951							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	食品衛生法等の一部を改正する法律により、原則として全ての食品等事業者がHACCPに沿った衛生管理が制度化され、小規模な飲食店等事業者への導入指導が急務となっている。令和3年6月の準備期間終了までに、組合や民間企業との協同事業等を活用し、まだ取り組めていない小規模事業者への導入支援を行っていく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11101801	事業名称	食肉衛生検査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	生活衛生課	問い合わせ先	048-224-6995	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、川口市と畜場の設置場所及び構造設備の基準等を定める条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	と畜場設置者、認定小規模食鳥処理業者、届出食肉販売業者等	同左、市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に定める獣畜等について、食用に供するために行う処理の適正確保のために必要な検査及び指導を行う。	①と畜検査申請に基づくと畜検査の実施、と畜場の施設監視 ②精密検査業務 ③と畜場、認定小規模食鳥処理場のHACCPに沿った衛生管理の推進 ④認定小規模食鳥処理業者の監視、報告、届出の受理	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	①検査頭数 牛5,274頭、施設監視182回 ②微生物検査3頭、病理検査10頭、理化学検査12頭の精密検査実施 ③HACCP会議、枝肉等拭き取り検査、衛生講習会の実施 ④認定小規模食鳥処理場施設監視回数	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	と畜場におけると畜検査、と畜場及び認定小規模食鳥処理場等の監視を通して、施設の衛生管理の向上、食肉・食鳥肉の衛生確保に努めた。	と畜検査頭数	5,274 頭
		精密検査実施頭数	25 頭
		施設監視回数	196 件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	と畜検査			指標・目標値の 説明(算定式)	食用に供するために行った獣畜の検査頭数。				
	単位	頭	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		5,171 達成	5,274 達成	5,100頭	5,100				
指標②	名称	監視指導			指標・目標値の 説明(算定式)	食肉・食鳥肉の安全性を確保するため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		201 達成	196 未達成	200	200				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	09目	004細目	01細々目	食肉衛生検査事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	17,279	16,634	16,994	16,994					
決算額(B)=(C)+(D)	—	11,750	14,733							
財源※	特定財源(C)	—	2,177	2,702	1,623					
	一般財源(D)	—	9,573	12,031	15,371					
概算人件費(E)	—	47,400	55,300	47,400	47,400					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.00	0.00	7.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	59,150	70,033	64,394	64,394					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	平成30年度にと畜場法及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の一部が改正され、と畜業者及び食鳥処理業者に対してHACCPに沿った衛生管理の実施が求められており、その導入及び導入支援が課題となっている。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11102001	事業名称	衛生検査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	衛生検査課	問い合わせ先	048-242-5348	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症法、食品衛生法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	各種検体検査を実施することにより、疾病の拡大防止及び食品衛生の向上を目的とする。	感染症検査 食品等収去検査 食中毒検体検査		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 感染症病原体等検査 3類感染症接触者検診 血液検査(QFT、STD) 食品等収去検査 食中毒検体検査	主な実績		
		項目	実績	単位
		感染症検査	1,500	検体数
		食品等収去検査	188	検体数
食中毒検体検査	100	検体数		
事業の成果 【定性的評価】	行政ニーズに対応し、検査項目の拡充を図った。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	10目	001細目	02細々目	衛生検査事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	76,681	71,966	75,859	76,434					
決算額(B)=(C)+(D)	—	67,162	62,267							
財源※	特定財源(C)	—	5,814	12,777	8,561					
	一般財源(D)	—	61,348	49,490	67,298					
概算人件費(E)	—	71,100	71,100	71,100	71,100					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	9.00	0.00	9.00	0.00	9.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	138,262	133,367	146,959	147,534					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	感染症対策に伴う検査などの常に変化する行政ニーズに対応するため、検査の質・量ともに拡充することが求められていることから、組織の体制強化が急務である。	2年度 拡充して実施 3年度 拡充して実施 4年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200011	事業名称	医療施設指導等事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	医療法、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	医療機関開設者等	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	医療施設関連法令の適正な運用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関等に関する許可・届出等 医療機関等に対する監視・指導等 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 病院・診療所への立入検査(7~2月) かかりつけ医療機関マップのデータ更新(3月完成) 	項目	実績	単位
		病院・診療所の定期立入検査	24	回
事業の成果 【定性的評価】	医療提供体制の整備により、市民の安心・安全を図ることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	病院・診療所の立入検査			指標・目標値の説明(算定式)	病院:毎年実施 有床診療所:3年に1回実施				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		26 達成	24 達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	02細々目	医療施設指導等事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	—	10,104		1,885		1,885		1,885		
決算額(B)=(C)+(D)	—	8,628		1,866						
財源※	特定財源(C)	103		106		125				
	一般財源(D)	8,525		1,760		1,760				
概算人件費(E)	—		15,800		15,800		15,800		15,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		24,428		17,666		17,685		17,685	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	立入検査の水準の向上のため、診療放射線技師、臨床検査技師等の専門職の配置が望ましい。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200101	事業名称	小児夜間等救急診療事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先 229-3291(#33-5416)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、小児救急医療施設運営費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市医師会及び市内3病院	救急医療を必要とする小児とその保護者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	休日や夜間における小児救急患者に対応する。乳幼児を持つ保護者のホームケアを啓発し、不要不急の受診を減らし、小児医療の現場を守る。	<ul style="list-style-type: none"> 小児救急患者に対する救急診療の実施 小児医療講座の開催 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 平日20時、土曜18時、日曜・祝日・休日・年末年始17時から翌朝8時まで、川口市医師会と市内3病院で診療を実施した 小児医療講座を年4回開催した 子ども夜間救急診療所の開設に向け準備した 	項目	実績	単位
		診療日数	366	日
		小児夜間等救急診療対応医療機関数	27	機関
小児医療講座	4	回		
事業の成果【定性的評価】	小児夜間救急診療体制を確保し、広報かわぐちや市ホームページ等で周知したことで、市民ニーズに対応したきめ細かいサービスの提供ができた。また、令和2年4月、子ども夜間救急診療所を開設し、年間を通じて診療を行う拠点を整備した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	パパ・ママのための小児医療講座参加者満足度			指標・目標値の説明(算定式)	参加者アンケートにおいて「(当講座内容が)役立つ」「まあまあ役立つ」と回答した割合		
	単位	%	指標の種別	成果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	100	達成	99	達成	98	達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	03細々目	小児夜間等救急診療事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	83,338	180,983		202,973	162,896	162,896				
決算額(B)=(C)+(D)	83,154	83,609		190,507						
財源※	特定財源(C)	16,801	16,828		16,951	89,135				
	一般財源(D)	66,353	66,781		173,556	73,761				
概算人件費(E)	5,460	7,110		9,480	9,480	9,480				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.90	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	88,614	90,719		199,987	172,376	172,376				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	子ども夜間救急診療所の開設に伴い、小児夜間救急診療体制が変わるため、市民に広く周知する必要がある。また、診療所が、市民が安心して受診できる小児の診療拠点となるよう関係機関と更なる協議を重ねていく。	2年度 拡充して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200201	事業名称	在宅当番医制事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5416)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	40	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市医師会	日曜・祝日に初期救急医療を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	日曜・祝日の急な病気や怪我等の際に受診できる体制を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・休日等の初期救急医療体制の確保 ・休日等の初期救急医療体制の周知活動 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、市医師会所属協力医療機関により、1日4医療機関体制(病院・内科・小児科・その他)で診療業務を実施した。	項目	実績
		診療日数	76 日
		市医師会所属協力医療機関数	220 機関
事業の成果【定性的評価】	市医師会の協力を得て受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報紙裏面を「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	01細々目	在宅当番医制事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	22,996	23,286	26,671	23,338	23,338			
決算額(B)=(C)+(D)	22,929	23,219	25,040					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	22,929	23,219	25,040	23,338			
概算人件費(E)	1,404	1,422	1,422	1,422	1,422			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,333	24,641	26,462	24,760	24,760			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
50 /60	厳しい財政状況と医師の高齢化や医師不足のため、今後この初期救急医療体制をどのように継続していくか、また、市民の医療に対する知識の普及・啓発が課題である。	<table border="1"> <tr> <td>2年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	2年度	現状維持で実施	3年度	現状維持で実施	4年度	現状維持で実施
2年度	現状維持で実施							
3年度	現状維持で実施							
4年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200301	事業名称	在宅歯科診療事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5416)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 61 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口歯科医師会	日曜・祝日に歯科の初期救急医療を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	日曜・祝日の救急歯科患者に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 休日等における歯科初期救急医療体制の確保 休日等における歯科初期救急医療体制の周知活動 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、市歯科医師会所属協力医療機関により、1日2医療機関体制で診療業務を実施した。	項目	実績
		診療日数	76 日
		歯科医師会所属協力医療機関数	147 件
事業の成果 【定性的評価】	歯科医師会の協力を得て、受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報誌裏面に「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	02細々目	在宅歯科診療事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	10,929	11,032	12,289	11,131	11,131			
決算額(B)=(C)+(D)	10,784	11,001	11,942					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	10,784	11,001	11,942	11,131			
概算人件費(E)	1,404	1,422	1,422	1,422	1,422		1,422	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,188	12,423	13,364	12,553	12,553			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
40 /60	日曜に診療を行っている歯科診療所も増えており、ニーズは低くなりつつある。しかし、祝日は診療をしている歯科診療所は少なく、高いニーズがあると考えられる。今後は、市民ニーズに対応した適正な救急歯科医療体制の整備を図れるよう、必要に応じて体制の見直し等を川口歯科医師会と協議していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200401	事業名称	病院群輪番制運営事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5416)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 55 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市病院群輪番制運営事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	救急病院等を定める省令第1条に基づき埼玉県知事の認定を受け、病院群輪番制事業に協力申請のあった12医療機関	休日や夜間に診療が必要となる患者(特に入院の必要性が考えられる患者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	日曜・祝日・休日・年末年始の8時から18時まで(以下「休日」という。)及び全日の18時から翌日の8時まで(以下「夜間」という。)において、救急車及び初期救急医療施設からの転送重症患者の受入等(以下「第二次救急医療」という。)を確保する。	第二次救急医療を提供する体制を確保することに要した費用の一部を補助金として支出。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	当番医療機関(済生会川口総合病院他11医療機関)へ補助金を交付した。	項目	実績 単位
		川口市病院群輪番制運営事業補助金	31,400 千円
事業の成果【定性的評価】	休日・夜間において入院治療を必要とする重症患者の医療を確保できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	04細々目	病院群輪番制運営事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	31,045	31,116	31,471	31,045	31,045			
決算額(B)=(C)+(D)	31,044	31,116	31,400					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	31,044	31,116	31,400	31,045			
概算人件費(E)	2,730	2,765	2,765	2,765	2,765		2,765	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	33,774	33,881	34,165	33,810	33,810		33,810	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	病院群輪番制参加医療機関は、医師等各病院毎の規模が異なるため救急搬送受入患者数のばらつきが見られる。受入患者数のばらつきの改善は難しいが、参加医療機関に対し、可能な限りに搬送受入れをお願いしていく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200501	事業名称	外国人未払医療費対策事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199(#33-5412)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 6 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - ① 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱、川口市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	国立及び県立を除く県内の医療機関	医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより、救急医療体制の円滑な運営に資する。	市内に居所等を有し日本国籍を有しない者で、緊急を要す治療を受けた傷病者で、本人の債務により医療費の返済が行えない者に係る医療費のうち、1年以上経過した未収金に対し補助する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・対象医療費、入院時食事療養費のうち未収納金の補助を行った。	項目	実績
		外国人未払医療費対策事業補助金	70 千円
事業の成果 【定性的評価】	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより健全な病院経営に寄与し、地域救急医療体制の確保を維持することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	05細々目	外国人未払医療費対策事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	—	2,415		70		80		80		
決算額(B)=(C)+(D)	—	1,085		70						
財源※	特定財源(C)	505		35		40				
	一般財源(D)	580		35		40				
概算人件費(E)	395		395		395		395			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,480		465		475		475			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	近年の国際化により、外国人が増加する中で、急性期の傷病による救急医療を受けた一部の外国人の医療費未収金により、医療機関の負担が増加している。救急医療体制の運営を確保するため、未収金の一部を補助する一方で、補助金交付対象の医療機関に対し、積極的な未収金の回収に一層努めるよう求めていく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200601	事業名称	献血推進事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 53 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市献血推進連絡協議会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民 川口市献血推進連絡協議会	受益者(最終的に受益を受ける人) 血液を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために) 献血思想の普及・啓発を図ると共に、献血により必要血液を確保するため、献血推進連絡協議会を中心とし、各地区・事業所などに協力を得て、献血の推進及び献血組織の指導・育成を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) ・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付 ・献血思想の普及・啓発 ・関係機関との連絡調整	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・川口市献血推進連絡協議会の開催(5月) ・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付 ・献血広報車運転業務の委託	主な実績 項目 実績 単位 川口市献血推進連絡協議会補助金 2,370,000 円 川口市献血推進連絡協議会 1 回 献血広報車運行 30 回	
事業の成果 【定性的評価】	血液事業の推進を図るとともに、血液を安定的に供給できる体制の確保に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	献血者数			指標・目標値の 説明(算定式)	埼玉県献血計画における目標値				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	2,964	未達成	2,551	未達成	2,454	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	01細々目	献血推進事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	3,110	3,454	2,872	3,118	3,118					
決算額(B)=(C)+(D)	2,242	2,436	2,271							
財源※	特定財源(C)	64	64	64	64					
	一般財源(D)	2,178	2,372	2,207	3,054					
概算人件費(E)	780	790	790	790	790					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,022	3,226	3,061	3,908	3,908					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	献血可能年齢人口の減少傾向に伴い、献血者を確保する方策を講じる必要がある。引き続き県や献血の実施主体である埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血者確保につとめていく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 元年度

事業コード	11200701	事業名称	骨髄移植ドナー支援事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5417)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱、川口市骨髄移植ドナー助成金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した方。(以下「ドナー」という。)	骨髄移植を必要とする患者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	ドナーの経済的負担を軽減するため助成金を交付し、ドナー登録の一層の拡大及びドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ドナーへ助成金を交付。 支援事業の周知活動。 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ドナー1人につき、14万円(上限額)の助成をした。 骨髄移植提供に要した日数(上限7日)×2万円/1日で算出した。 10月に川口駅前キャステビジョンを利用し助成金の概要を周知した。 	項目	実績	単位
		助成金交付人数	8	人
事業の成果 【定性的評価】	ドナーの経済的負担の軽減が図られ、患者の骨髄移植機会の提供に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成金交付率			指標・目標値の説明(算定式)	助成金の交付申請をしたドナーに対する助成金の交付率				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	100	100	100	100	100				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	01細々目	骨髄移植ドナー支援事業				
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	700	840		1,120		840	840				
決算額(B)=(C)+(D)	420	140		1,120							
財源※	特定財源(C)	210	70		560		420				
	一般財源(D)	210	70		560		420				
概算人件費(E)	702	316		316		316	316				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,122	456		1,436		1,156	1,156				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	将来的な市民ニーズについて経過を観察し、今回の実績を更に上回れるよう助成金制度の周知方法の改善を図る。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200801	事業名称	医師会補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199(#33-5412)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市医師会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	一般社団法人川口市医師会	市内の医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	医師会の活動を支援し、地域医療の推進、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図る。	一般社団法人川口市医師会に対する補助金を交付する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市医師会が行った地域医療推進事業、公衆衛生啓発事業、学術研究事業に対し、補助金を交付した。	項目	実績 単位
		川口市医師会補助金	2,547 千円
事業の成果 【定性的評価】	・地域医療推進事業により、市民の健康保持増進が図られた。 ・学術研究事業により、川口市医師会員の学術レベルが向上し、質の高い医療サービスが提供された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	03細々目	医師会補助事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	2,547	2,547	2,547	2,547	2,547			
決算額(B)=(C)+(D)	2,547	2,547	2,547					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	2,547	2,547	2,547	2,547			
概算人件費(E)	390	395	395	395	395			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,937	2,942	2,942	2,942	2,942			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	川口市医師会の活動は、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上のために重要なものであるため、今後も本事業を現状維持で実施する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11200901	事業名称	公的医療機関運営費補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5416)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	特別交付税に関する省令、川口市補助金等交付規則、川口市公的医療機関運営費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内公的医療機関	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市域全体の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図る。	医療法第31条に定める公的医療機関である済生会川口総合病院が行う不採算医療部門の運営に要する経費に対し、補助金を交付。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	「特別交付税に関する省令」に基づき算定した補助金を交付した。	項目	実績 単位
		川口市公的医療機関運営費補助金交付	133,639 千円
事業の成果 【定性的評価】	採算性の低い診療分野が維持されるなど公的医療機関としての機能が維持された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	06細々目	公的医療機関運営費補助事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	124,508	132,217		133,639		133,871		133,871		
決算額(B)=(C)+(D)	124,508	132,217		133,639						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	124,508		132,217		133,639		133,871		
概算人件費(E)	390		395		395		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	124,898		132,612		134,034		134,266		134,266	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	市域の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図るため、不採算医療部門の運営に要する経費に対し、今後も継続して補助金を交付する。また、市域の医療体制のさらなる拡充に努める。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201001	事業名称	済生会川口看護専門学校補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199(#33-5412)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - ① 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実				
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口看護専門学校補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	済生会川口看護専門学校	市内医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師を養成している看護専門学校への補助により、多くの卒業生に川口市内の医療機関に就職してもらい、看護師不足を解消する。	看護師養成事業に対して補助金を支出する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	看護師育成に必要な人件費、消耗器具備品費、研修研究費等に対して補助金を交付した。	項目	実績 単位
		済生会川口看護専門学校補助金	4,270 千円
事業の成果 【定性的評価】	最新の医療の動向を踏まえた教育を受け、質の高い看護技術を習得した学生が40名卒業した。卒業生のうち80パーセントが市内の医療機関に就職し、市民に対する医療サービス提供体制の充実に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市内医療機関への就職者率			指標・目標値の説明(算定式)	済生会川口看護専門学校の卒業生のうち、市内の医療機関への就職者の割合				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	90		90		90	90		90	
	実績値	93.33	達成	88.57	未達成	80	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	07細々目	済生会川口看護専門学校補助事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	4,270	4,270		4,270		4,270		4,270		
決算額(B)=(C)+(D)	4,270	4,270		4,270		4,270		4,270		
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	4,270		4,270		4,270		4,270		
概算人件費(E)	390		395		395		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,660		4,665		4,665		4,665		4,665	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	市内の医療機関で勤務する看護師を確保し、保健医療の充実を図るために必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201101	事業名称	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先 229-3199(#33-5412)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業に関する協定書

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	埼玉県済生会川口総合病院	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	助成対象が公的医療機関として二次救急医療圏における小児医療、救急医療、災害医療、周産期医療等の一翼を担い、今後も引き続き安定した救急医療等を提供するとともに、さらなる医療提供機能の拡充を図り、地域に必要で高度な医療を安定的かつ継続的に確保する。	整備事業に要する借入金62億1793万1千円に対し、各年度の返済利子の2分の1以内の額を毎会計年度の予算の定めるところにより助成する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	返済利子の一部を助成した。	項目	実績 単位
		済生会新館建設等設備費利子助成金	9,359 千円
事業の成果 【定性的評価】	救急診療、新生児及び周産期医療体制の拡充により、市民に対し質の高い医療の提供が可能となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	08細々目	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	15,000	10,000	10,000	10,424	10,424			
決算額(B)=(C)+(D)	9,741	9,797	9,359					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	9,741	9,797	9,359	10,424			
概算人件費(E)	468	395	395	395	395			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	10,209	10,192	9,754	10,819	10,819			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	質の高い医療提供体制を確保するために必要な助成事業であり、今後も現状維持で実施する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201151	事業名称	公的医療機関高額医療機器整備費補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291(#33-5416)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市公的医療機関高額医療機器整備費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内公的医療機関	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市域全体の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図る。	医療法第31条に定める公的医療機関である済生会川口総合病院が整備する高額医療機器に要する経費に対し、補助金を交付。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	「川口市公的医療機関高額医療機器整備費補助金交付要綱」に基づき算定した補助金を交付した。	項目	実績	単位
		川口市公的医療機関高額医療機器整備費補助金	150,000	千円
事業の成果【定性的評価】	医療機器の購入により、内視鏡下手術の提供が可能になった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	09細々目	公的医療機関高額医療機器整備費補助事業
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	88,000	—	150,000	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	88,000	—	150,000				
財源※	特定財源(C)	0	—	0	—		
	一般財源(D)	88,000	—	150,000	—		
概算人件費(E)	0	—	395	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	—	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	88,000	—	150,395	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	市域の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図るため、市民ニーズの高い高額医療機器への補助となるよう精査する必要がある。	2年度 休止 3年度 休止 4年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201161	事業名称	医療安全相談事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	医療法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	患者、家族等の医療に対する信頼を確保し、患者本位の医療を推進するため、医療機関に対する助言、情報提供及び研修、並びに患者、家族等に対する助言及び情報提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 患者、家族等からの医療機関に関する相談に対応し、助言や情報提供を行う。 医療機関を対象として医療安全に関する研修を実施する。 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全相談(電話、メール等)(通年) 医療安全研修(9/24、11/19) 	項目	実績	単位
		医療安全相談(令和2年3月末現在)	552	件
		医療安全に関する研修会	2	回
事業の成果 【定性的評価】	医療安全意識の向上により、市民の安心・安全を図ることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	医療安全相談件数			指標・目標値の説明(算定式)	電話やメール等による医療安全相談件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		544	達成	552	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	01細々目	医療安全相談事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	25	25	50	50					
決算額(B)=(C)+(D)	—	0	25							
財源※	特定財源(C)	—	0	25	50					
	一般財源(D)	—	0	0	0					
概算人件費(E)	—	2,370	2,370	2,370	2,370					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	2,370	2,395	2,420	2,420					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	医療安全相談窓口の認知度が上がってくるにつれ、医療事故や医療内容の適正さの判定を求めると行政の権限を越える内容であるにも関わらず、受益者の問題解決に係る要求度が増している。 受益者(市民)に対し、医療安全相談で応需可能な内容の周知が長期的に必要である。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201171	事業名称	薬事関連施設指導等事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	薬局開設者等	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	薬事関連法令の適正な運用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局等に関する許可、届出等 ・薬局等に対する監視、指導等 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・薬事関連施設に対する監視指導(通年) ・健康食品、家庭用品等の試買調査 	項目	実績	単位
		薬局・医薬品販売業者の監視指導件数(3月末時点)	99	件
		毒物劇物販売業者の監視指導件数(3月末現在)	20	件
事業の成果 【定性的評価】	医薬品等の供給体制の整備及び毒物劇物に係る安全管理の周知を行うことにより、市民の安心・安全を図ることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	薬局・医薬品販売業者の監視指導件数			指標・目標値の 説明(算定式)	薬局に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況			118 達成		99 達成				
指標②	名称	毒物劇物販売業者の監視指導件数			指標・目標値の 説明(算定式)	毒物劇物販売業者に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況			41 達成		20 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	03細々目	薬事関連施設指導等事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	—	89		132		108		108		
決算額(B)=(C)+(D)	—	50		83						
財源※	特定財源(C)	50		83		108				
	一般財源(D)	0		0		0				
概算人件費(E)	—		15,800		15,800		15,800		15,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		15,850		15,883		15,908		15,908	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	監視員の知識・経験の向上が必須である。 リスクの高い施設の監視指導を優先的に実施するなど、少人数で効率・効果的な監視指導を行うことができるよう業務改善が必要。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201181	事業名称	難病支援事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先	266-5557(#74-5732)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	難病の患者に対する医療等に関する法律、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律、石綿による健康被害の救済に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	指定難病患者とその家族、原子爆弾被爆者健康手帳の交付を受けた人、石綿による健康被害を受けた人及びその遺族	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病患者の医療費の負担軽減及び疾病に対する不安の解消をするため 原子爆弾被爆者の医療費の負担軽減を図るため 石綿による健康被害を受けた人及びその遺族へ救済給付を行うため 	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病患者の医療給付支給認定申請、原子爆弾被爆者の医療給付の受理及び埼玉県への進達事務 在宅難病患者地域支援事業(療養計画策定・評価、訪問相談員育成、医療相談、訪問相談・指導) 石綿健康被害者及びその遺族からの給付申請の受付事務 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病医療給付新規・継続申請受付・進達 在宅難病患者訪問、面接相談、ケース支援検討会議、療養支援計画策定・難病対策地域協議会設置 難病講演会、難病相談支援者研修開催 原子爆弾被爆者、石綿健康被害医療給付申請受付・進達 	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> 医療費、介護負担が軽減され生活の質の向上及び不安の解消に寄与した 疾病に対する理解を深めることができた 	指定難病医療給付新規・継続申請受付	3,918	件
		在宅難病患者訪問件数	53	件
		難病講演会、難病相談支援者研修開催	126	人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ALS患者及び家族への療養支援			指標・目標値の説明(算定式)	ALS患者の療養支援計画の作成率				
	単位	率	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
実績値・達成状況		100	達成	100	達成					
指標②	名称	災害時医療機器使用者リストの更新			指標・目標値の説明(算定式)	災害時医療機器使用者リストの更新回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
実績値・達成状況		12	達成	12	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	002細目	01細々目	難病支援事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	8,754	11,074	11,813	11,813					
決算額(B)=(C)+(D)	—	8,054	9,248							
財源※	特定財源(C)	—	1,259	1,279	1,314					
	一般財源(D)	—	6,795	7,969	10,499					
概算人件費(E)	—	47,400	47,400	47,400	47,400					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	55,454	56,648	59,213	59,213					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	災害時医療機器リストを月に一度見直し・更新を図ったが、それを活かすために、来年度以降は、災害時を想定した難病患者の療養支援計画の策定を行う。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201201	事業名称	奨学金貸付事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市看護学生等奨学金条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	看護師を志望する看護学生等(看護師養成施設、保健師養成所、助産師養成所)で学業成績が良好で品行方正で身体強健な者で、卒業後に市内の医療機関等において、看護師等として就業を希望する者。	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	看護師が不足している現在、奨学金貸付事業を継続することで、より優秀な看護師を養成し、市内医療機関の看護師需要が確保でき、また市内医療機関の充実と、より高い看護能力を有する人材の育成を図ることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生に対して新規貸付、在校生に対して継続貸付 ・市内病院就職者の奨学金返還免除 ・免除対象者以外への返還依頼 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	年度当初に申請を募り、予算の範囲内で貸付決定を行っている。具体的には、川口市看護学生等奨学金条例に基づき、一人当たり年間36万円(月額3万円)の貸付を行った。	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	卒業生24名のうち、貸付者は17名で卒業後の進路については、進学者2名、市内就職者15名(88.24%)、そのうち医療センターへの就職者は11名(64.71%)、その他市内医療機関への就職者は4名(23.53%)である。	奨学金貸付額	21,870,000	円
		貸付者のうち、卒業生の市内就職率	88.24	%

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計	01款	01項	01目	003細目	01細々目	奨学金貸付事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	26,280	24,480	24,480	23,760	23,760			
決算額(B)=(C)+(D)	20,310	19,260	21,870					
財源※	特定財源(C)	6,255	6,955	4,710	6,481			
	一般財源(D)	14,055	12,305	17,160	17,279			
概算人件費(E)	7,800	7,900	7,900	7,900	7,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,110	27,160	29,770	31,660	31,660			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	奨学金貸付希望者が増加傾向にあり、奨学生の選考が厳しくなってきたが、市内医療機関の看護師不足の解消や、優秀な看護人材の育成、確保に寄与するため、学生の学業成績及び生活態度等を十分に考慮し今後とも貸付を実施していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201301	事業名称	第1看護学科運営費	事業区分	通常事業
担当	保健部	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	学校教育法第90条第1項に該当する本校の入学者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師養成施設として、豊かな人間性を養い、看護専門職として必要な知識・技術・態度を習得し社会のニーズに対応できる有能な看護師を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)を修得する ・看護師の国家資格を取得する 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	看護師の国家資格を取得するために修業年限3年間で、所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)を修得。	項目	実績 単位
		卒業者数	24 人
		看護師国家試験合格者数	23 人
事業の成果【定性的評価】	第109回看護師国家試験において24名が受験し、合格者23名(合格率95.8%)であった。(全国(3年課程)の合格率は93.3%)		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計	02款	01項	01目	001細目	01細々目	第1看護学科運営費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	19,497	21,747	20,603	23,413	23,413			
決算額(B)=(C)+(D)	18,968	19,251	18,518					
財源※	特定財源(C)	18,968	19,251	18,518	23,413			
	一般財源(D)	0	0	0	0			
概算人件費(E)	85,800	94,800	86,900	94,800	94,800			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	11.00	0.00	12.00	0.00	12.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	104,768	114,051	105,418	118,213	118,213			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	令和元年度をもって第2看護学科課程の廃止に伴う教員の異動等により、今後は教育内容を充実すべく第1看護学科教員の増配置や研修等の参加による質の向上に取り組み、教育資源の集中を図っていく。	2年度 効率化して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11201401	事業名称	第2看護学科運営費	事業区分	通常事業
担当	保健部	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	保健師助産師看護師法に基づく准看護師の免許を得た後3年以上の業務に従事している者又は学校教育法第1条に規定する高等学校若しくは中等教育学校を卒業している准看護師に該当する本校の入学者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師養成施設として、看護のさらなる探求をする学生の主体的な学習を支援し、豊かな人間性をはぐくみ、専門職業人としての知識、技術、態度を修得させ、社会に貢献しうる有能な正看護師を育成する。	・修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である72単位(2190時間)を修得する。 ・看護師の国家資格を取得する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	看護師の国家資格を取得するため、修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である72単位(2190時間)を修得。	項目	実績 単位
		卒業者数	23 人
		看護師国家試験合格者数	22 人
事業の成果 【定性的評価】	第109回看護師国家試験において23名が受験し、合格者22名(合格率95.7%)であった。(全国(2年課程)の合格率は76.8%)		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計	02款	01項	02目	001細目	01細々目	第2看護学科運営費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	12,023	7,842	3,126	—	—			
決算額(B)=(C)+(D)	11,252	6,705	2,347					
財源※	特定財源(C)	11,252	6,705	2,347	—			
	一般財源(D)	0	0	0	—			
概算人件費(E)	62,400	55,300	55,300	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.00	0.00	7.00	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	73,652	62,005	57,647	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	3 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	低かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込めない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
40 /60	准看護師の減少等により、本校では第2看護学科の役割を終えたこと及び第1看護学科の教育内容を充実すべく教員の増配置等、教育資源の集中を図ることから令和元年度をもって第2看護学科の課程を廃止するもの。	2年度 廃止 3年度 — 4年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11300101	事業名称	被保険者証発送事務費	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7669	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、川口市国民健康保険条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	被保険者であること又は高齢受給者証対象者であることを証明し、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付を受けることができる。	被保険者に対し被保険者証を世帯単位で送付する。70歳から74歳までの被保険者に対し高齢受給者証を世帯単位で送付する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・毎年10月1日に更新(有効期限1年)される被保険者証の対象世帯への交付、及び年度途中からの加入世帯への被保険者証の交付。 ・毎年8月1日に更新(有効期限1年)される高齢受給者証の対象世帯への交付、及び70歳年齢到達者への高齢受給者証の交付。	項目	実績	単位
		国民健康保険被保険者証作成業務委託	2,282,178	円
国民健康保険高齢受給者証作成業務委託	656,346	円		
事業の成果 【定性的評価】	被保険者証及び高齢受給者証を受け取った被保険者が、健康の回復・維持のため、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付を受けることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	被保険者証当初発送件数(世帯数)			指標・目標値の 説明(算定式)	10月1日更新被保険者証交付世帯数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	92,500		90,300		87,000		86,000		85,000
	実績値・達成状況	90,939	未達成	88,856	未達成	86,779	未達成			
指標②	名称	高齢受給者証当初発送件数(世帯数)			指標・目標値の 説明(算定式)	8月1日更新高齢受給者証交付世帯数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	21,000		21,500		22,000		0		0
	実績値・達成状況	21,024	達成	21,663	達成	22,015	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計						01款	01項	01目	002細目	01細々目	被保険者証発送事務費	
年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度				
予算額(A)	57,398		55,614		55,104		57,210		57,210				
決算額(B)=(C)+(D)	53,129		52,186		51,142								
財源※	特定財源(C)	10,084		9,871		0		0					
	一般財源(D)	43,045		42,315		51,142		57,210					
概算人件費(E)	67,080		67,940		67,940		67,940		67,940				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	120,209		120,126		119,082		125,150		125,150				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	・当初発送分の被保険者証返戻(令和元年度返戻数7,478件、8.62%)にかかる再送付事務時間及び郵送料の削減。 ・高齢受給者証業務については、令和2年度から被保険者証との一体化が実施されるため、被保険者証業務に集約。	2年度 拡充して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11300201	事業名称	国保給付事務費			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	保険給付に係る申請、支給等に関する事務を適正に実施することにより、国保給付事業を円滑に遂行するため。	臨時職員の雇用、各種申請書等の作成費用の支出、郵便費用の支出、第三者行為損害賠償事務手数料の支出。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	臨時職員の雇用、各種申請書等の作成費用の支出、郵便費用の支出、第三者行為損害賠償事務手数料の支出。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	臨時職員の雇用による申請受理業務の処理時間の短縮、各種作成した申請書の使用による正確な申請受付など、事業の実施により国保給付事務が円滑に執行された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	国保給付事務費総額			指標・目標値の説明(算定式)	臨時職員賃金、需用費(印刷製本費)、役員費(通信運搬費、第三者行為損害賠償求償事務手数料)、委託料の合計。30年度から、レセプト点検事業費、共同電算処理事業費を統合した数値。				
	単位	円	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					11,268,000	79,018,000	78,625,000	80,539,000	
	実績値・達成状況					14,503,603 達成	75,599,667 未達成	73,772,516 未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	02細々目	国保給付事務費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	15,521	79,018		79,110		80,539		80,539		
決算額(B)=(C)+(D)	14,909	75,600		73,773						
財源※	特定財源(C)	13		13		0				
	一般財源(D)	14,909		75,587		73,760		80,539		
概算人件費(E)	7,800		7,900		7,900		7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	22,709		83,500		81,673		88,439		88,439	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	給付事務を適正に執行するための費用であるという性質上、その支出は適正であることが前提である。レセプト点検員の雇用については、国保給付事務が増加していることに伴い、業務の効率化を図りつつ、増員について検討していきたい。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 元年度

事業コード	11300501	事業名称	賦課事務経費			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7669	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	地方税法、地方税法施行令、地方税法施行規則、川口市国民健康保険税条例、川口市国民健康保険税規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	川口市国民健康保険被保険者	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	納税義務者に対象期間の保険税額を知らせ、全額を納付してもらう。	被保険者がいる世帯の納税義務者に対して納税通知書を送付する。			
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	・継続して加入している被保険者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ当初納税通知書の送付。・年度途中からの加入者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ随時納税通知書の送付。・保険税額が変更となる場合、保険税の更正決定通知書の送付。	項目	実績	単位	
		国民健康保険税納税通知書作成業務委託	9,231,152	円	
事業の成果【定性的評価】	医療給付費等、国民健康保険制度の原資となる国民健康保険税の確実な収納に向け、賦課の決定理由、計算の根拠、保険税額及び個人明細、納付方法、納期等を納税通知書に明記し、納税義務者へ通知した。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	当初納税通知書発送件数			指標・目標値の説明(算定式)	当初(7月)賦課時の納税義務者数				
	単位	世帯数	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	95,290	未達成	92,719	未達成	90,154	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計										01款	02項	01目	001細目	01細々目	賦課事務経費		
年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度									
予算額(A)	103,330		111,257		115,146		111,844		111,844									
決算額(B)=(C)+(D)	95,305		95,591		94,175													
財源※	特定財源(C)	1,365		1,657		98		97										
	一般財源(D)	93,940		93,934		94,077		111,747										
概算人件費(E)	81,042		82,081		82,081		82,081		82,081									
従事職員人数(人)	常勤	再任用	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00				
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	176,347		177,672		176,256		193,925		193,925									

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	・国民健康保険税の納付の利便性を高め、収納率向上に資するための口座振替率の更なる向上。 ・国民健康保険の都道府県化に伴い、更なる財政運営の安定化を目標とした国民保険税率等の見直し。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11300701	事業名称	国民健康保険運営協議会経費			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、川口市国民健康保険条例、川口市国民健康保険条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	1 一部負担金の負担割合に関すること。 2 保険税の税率に関すること。 3 保険給付の種類及び内容に関すること。 4 その他市長が国民健康保険事業の運営上重要なものと認めること。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	事業内容に記載のある事項等についての審議。 元年度は3回開催。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	3回の会議で、国民健康保険事業の運営に関する重要事項が審議、決定された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	03項	01目	001細目	01細々目	国民健康保険運営協議会経費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	842	831		828		823		823		
決算額(B)=(C)+(D)	466	470		475						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	466		475		823				
概算人件費(E)	2,340		2,370		2,370		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,806		2,840		2,845		3,193		3,193	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	協議会を構成する委員は、公益代表、国保医師薬剤師代表、被保険者代表(市民)となっており、各分野の意見収集が可能となっている。今後も、各委員に意見をいただきながら審議を行い、その時々に合わせて適正に会議を開催し、健全な国民健康保険事業の実施につなげていく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11300801	事業名称	保健衛生普及事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	被保険者の健康意識の高揚や医療費の抑制を図り、医療費の適正化につなげる。	医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)の記載したハガキを、該当世帯に送付することにより、受診状況・医療費の金額を確認することにより、健康意識の高揚や医療費の抑制が期待できる。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)の記載したハガキを、該当世帯に送付する。	項目	実績
		医療費通知発送件数	369,917
事業の成果 【定性的評価】	医療費通知の作成(発送)件数は、川口市国民健康保険被保険者が医療機関に受診した際に生じる診療報酬明細書等の情報を元に作成されるため、被保険者の受診の状況により作成(発送)件数は増減する。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	01項	01目	001細目	01細々目	保健衛生普及事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	20,526	21,665	20,683	20,685	20,685					
決算額(B)=(C)+(D)	20,526	20,650	20,461							
財源※	特定財源(C)	20,526	20,650	0	0					
	一般財源(D)	0	0	20,461	20,685					
概算人件費(E)	7,800	7,900	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,326	28,550	28,361	28,585	28,585					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	医療費通知の作成は、国保連合会への委託で行っており、共同事業であるため、作成費用はかかっていない。また郵送費については一部調整交付金で補填されている。国からの補助金を受ける際の評価項目の一つとなっているが、被保険者に対しより効果的な適正化推進のため、引き続き事業を実施していきたい。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11300901	事業名称	後発医薬品利用促進事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	処方される薬剤により安価な後発品があり、後発品に切り替えた場合、本人負担に一定の軽減効果が認められる場合、その差額を記載した通知をし、本人の医療費の負担軽減を促進すること。	年に2回、埼玉県国保団体連合会に共同事業として作成を委託しており、一定の差額が生じるデータを抽出し、そのデータが印刷されたものの納品を受ける。納品された通知を送付し、後発医薬品の利用を促進する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	9月と3月にそれぞれ通知を行った。埼玉県国保団体連合会で作成された後発医薬品差額通知を送付し、後発医薬品の利用を促進する。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	作成対象年月の受診状況にも左右されるが、先発医薬品から後発医薬品への切り替えが進んだ場合、作成件数は減少していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	作成(発送)件数			指標・目標値の 説明(算定式)	対象の年月に、生活習慣病に関し後発品の存在する調剤を使用した場合、後発品に切り替えたときに300円以上の軽減が見込まれるデータを抽出し、通知を作成・発送している。				
	単位	件	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	平成29年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	実績値・達成状況	6,611	達成	3,546	未達成	2,881	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	平成29年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	01項	01目	001細目	02細々目	後発医薬品利用促進事業				
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	668	704		689		695	695				
決算額(B)=(C)+(D)	668	409		337							
財源※	特定財源(C)	484	356		0		0				
	一般財源(D)	184	53		337		695				
概算人件費(E)	7,800	7,900		7,900		7,900	7,900				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,468	8,309		8,237		8,595	8,595				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	平成30年度で目標の数値は達成できたものの、過去3年間で4,412件・3,513件・6,611件と不安定な数値であることから、今後も継続した促進が必要と考える。埼玉県国民健康保険団体連合会の協力のもとで、より効果的な通知の作成・発送に取り組みたい。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11301001	事業名称	疾病予防事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 58 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	川口市国民健康保険被保険者の人間ドック検診料助成に関する要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	30歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	疾病を早期発見することにより、健康の保持増進を図ること。	検診料の一部を助成することにより、人間ドックの受診を勧め、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図る。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市医師会と協定を結び、川口市医師会指定の医療機関において人間ドック検診を実施している。検診料の一部を助成することにより、人間ドックの受診をすすめ、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図る。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	平成30年度の実施(助成)件数は、9,158件であった。件数及び受診率は、29年度と比較し減少している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	(受診件数)/(対象被保険者数)×100				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	9.10	未達成	8.53	未達成	8.54	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	01項	02目	001細目	01細々目	疾病予防事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	270,224	259,474		261,180		240,885		240,885		
決算額(B)=(C)+(D)	238,438	214,347		210,074						
財源※	特定財源(C)	75,693		35,634		0		0		
	一般財源(D)	162,745		178,713		210,074		240,885		
概算人件費(E)	7,800		7,900		7,900		7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	246,238		222,247		217,974		248,785		248,785	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	受診率の向上のため、今後も広く周知を図って行きたい。また、川口市医師会と調整を行いながら、医療機関内での広報についても協力を求めている。	2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施
		4年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11301101	事業名称	特定健康診査事業費	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	特定健康診査は、生活習慣病発症の要因となるメタボリックシンドロームに特化した健診である。若いうちから健康管理を行い、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上し、医療費の適正化により医療保険の健全な運営を目指す。	特定健康診査は、川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関等において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関等において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。	項目	実績
		特定健康診査受診率	34.30 %
事業の成果 【定性的評価】	受診率の向上により、より多くの被保険者の健康管理や生活習慣病の予防へとつながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	受診者数/受診対象者数(平成30年度までの実績値は法定報告の数値)。平成30年度以降の目標値は第2期データヘルス計画に基づく。				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	33.50	未達成	35	未達成	34.30	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	02項	01目	001細目	01細々目	特定健康診査事業費			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	355,116	331,156	382,231	322,369	322,369					
決算額(B)=(C)+(D)	260,294	283,369	356,974							
財源※	特定財源(C)	92,927	126,296	128,199	192,903					
	一般財源(D)	167,367	157,073	228,775	129,466					
概算人件費(E)	7,956	8,058	8,058	8,058	8,058					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.02	0.00	1.02	0.00	1.02	0.00	1.02	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	268,250	291,427	365,032	330,427	330,427					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	国が定める特定健康診査等基本指針において、令和5年度までの目標値として特定健康診査実施率60%と定められているが、目標値には達していないのが現状である。今後は適宜内容を見直すとともに、事務の効率化を図ることで、受診率の更なる向上を目指す。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11301201	事業名称	特定保健指導事業費	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査の受診結果で生活習慣病発症のリスクが高い被保険者。	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	対象者が保健指導を受けることで、自らの生活改善を行い生活習慣病の発症や重症化を防ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満を起因とする生活習慣病予防の特定保健指導 ・糖尿病性腎症予防の生活習慣病重症化予防対策事業 ・特定保健指導以外の生活習慣病予防の保健指導 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	①特定保健指導を9月から5月にかけて行い、委託業者が市内公共施設等で個別に面接を行った。②生活習慣病重症化予防対策事業を8月から2月にかけて行い、委託業者が市内公共施設や対象者自宅にて個別指導した。③特定保健指導以外の対象者でリスクがある者に生活改善の通知。	項目	実績	単位
		特定保健指導受診率	9.80	%
事業の成果【定性的評価】	特定保健指導を受けることにより、対象者の生活習慣が改善され、生活習慣病の発症が抑えられた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定保健指導利用率			指標・目標値の説明(算定式)	利用者数/対象者数(平成30年度までの実績値は法定報告の数値)。平成30年度以降の目標値は第2期データヘルス計画に基づく。		
	単位	%	指標の種別	結果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	13	未達成	17.70	達成	9.80	未達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	02項	01目	002細目	01細々目	特定保健指導事業費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	23,323	21,661	21,465	28,464	28,464			
決算額(B)=(C)+(D)	14,497	17,847	18,754					
財源※	特定財源(C)	13,128	14,788	2,203	2,712			
	一般財源(D)	1,369	3,059	16,551	25,752			
概算人件費(E)	7,020	7,110	7,110	7,110	7,110			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,517	24,957	25,864	35,574	35,574			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	利用率は上昇傾向にあるが、さらに支援内容の充実と未利用者への勧奨を強化するため、効果の見える保健指導を行うことができるような委託業者を活用することが課題である。令和元年度から公募型プロポーザル方式で業者選定を行っており、指導力のある業者を選定していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11301301	事業名称	健康診査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 適切な健康管理、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上し、医療費の適正化により医療保険の健全な運営を目指すもの。なお、本事業は埼玉県後期高齢者医療広域連合からの受託事業である。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。 受診者の自己負担は500円で、健診(検診)費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。	主な実績 項目 実績 単位	
事業の成果 【定性的評価】	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康診査助成者数			指標・目標値の 説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					11,100	11,500	12,000	13,320	
	実績値・達成状況	10,492	未達成	11,317	未達成	10,161	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	01細々目	健康診査事業				
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	118,527	140,743		159,729		168,290	168,290				
決算額(B)=(C)+(D)	111,963	137,088		149,148							
財源※	特定財源(C)	78,146	93,330		93,458		114,098				
	一般財源(D)	33,817	43,758		55,690		54,192				
概算人件費(E)	2,340	2,370		2,370		2,370	2,370				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	114,303	139,458		151,518		170,660	170,660				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	受診者数の増加と重複受診の防止が課題であり、被保険者に対する受診勧奨を強化する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11301401	事業名称	人間ドック検診料助成事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市後期高齢者医療被保険者人間ドック検診料助成に関する要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
事業の概要	事業の目的(何のために) 被保険者が人間ドックを受診するにあたり、その検診料の一部を助成することにより人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進に資すること。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進を図るため、人間ドック検診料の一部の助成を行う。被保険者に人間ドック受診の勧奨を行う。受診者の自己負担は6,480円で、受診費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。	
元年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 人間ドックの受診者に対して、検診料の一部を助成した。 ①検診単価 31,060円(消費税8%) 31,636円(消費税10%) ②自己負担額 6,480円 ③助成額(①-②) 24,580円(消費税8%) 25,156円(消費税10%)	主な実績	
事業の成果【定性的評価】	人間ドックの受診が容易となり普及が進んだ。受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診助成者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					4,600	4,800	5,500	5,550	
	実績値・達成状況	4,796	達成	4,820	達成	4,136	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計						01款	01項	01目	002細目	02細々目	人間ドック検診料助成事業
年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
予算額(A)	113,852		119,128		138,627		140,531		140,531			
決算額(B)=(C)+(D)	113,821		115,419		125,895							
財源※	特定財源(C)	90,603		88,598		85,502		53,773				
	一般財源(D)	23,218		26,821		40,393		86,758				
概算人件費(E)	2,340		2,370		2,370		2,370		2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	116,161		117,789		128,265		142,901		142,901			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	健康管理システムの導入を行い、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に努めた。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合の補助金交付対象事業であるため、重複受診の防止に努める。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	11301501	事業名称	後期高齢者医療保険料徴収関係経費	事業区分	通常事業
担当	保健部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第104条~115条

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	後期高齢者医療制度の安定的な財源の確保	後期高齢医療保険料の収納、滞納整理に関する業務 保険料賦課額の通知 保険料の収納 督促状・催告書の送付 滞納保険料がある者に対する滞納処分や執行停止	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	窓口納付・口座振替開始通知・年金天引き切替 督促状・催告書の送付 電話催告 分納誓約締結・差押・執行停止 還付処理	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	3 事業活動・成果の状況については、年度途中(1月末の数値)なので評価できない。次回、更正時に入力する		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	現年度分収納率			指標・目標値の説明(算定式)	現年度分収納率99.20%を目標とする		
	単位	%	指標の種別	成果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	99.20	99.20	99.20	99.20	99.33		
指標②	名称	滞納繰越分収納率			指標・目標値の説明(算定式)	滞納繰越分収納率33.3%を目標とする		
	単位	%	指標の種別	成果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	98.57 未達成	98.70 未達成	83.72 未達成				
指標②	名称	滞納繰越分収納率			指標・目標値の説明(算定式)	滞納繰越分収納率33.3%を目標とする		
	単位	%	指標の種別	成果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	29.87 未達成	28.22 未達成	26.60 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計	01款	02項	01目	001細目	01細々目	後期高齢者医療保険料徴収関係経費		
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	29,982	39,685	32,836	142,297	142,297				
決算額(B)=(C)+(D)	29,531	38,166	31,686						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	1,127				
	一般財源(D)	29,531	38,166	31,686	141,170				
概算人件費(E)	15,600	15,800	15,800	15,800	15,800				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	45,131	53,966	47,486	158,097	158,097				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	賦課業務を適正かつ効率的に行い、且つ、保険料の収納率を向上させる必要がある。保険料の収納率向上は制度の安定的な財政運営を確保するうえで重複なことであり、普通徴収及び滞納繰越の収納率を向上させることが課題である。	2年度 効率化して実施 3年度 効率化して実施 4年度 効率化して実施